

一人暮らしのお年よりの不安も解消

火事・救急の緊急通報・日常生活の相談も



あんしんホットラインの機能を確認する岡崎市長ら



「よく聞こえますか」と話しかける岡崎市長

試験通報 通信状況も 快調に!!



自宅で応答する小山さん

試験通報に協力していただいた小山美津子さんは、「新しい器具は使いやすいです。スマートに住み慣れた場所です。安心して暮らせるのは何よりうれしい。日常の相談も受け付けてもらえるようになるので心強い」と喜びを語っておられました。

あんしん ホットライン の利用は

対象者

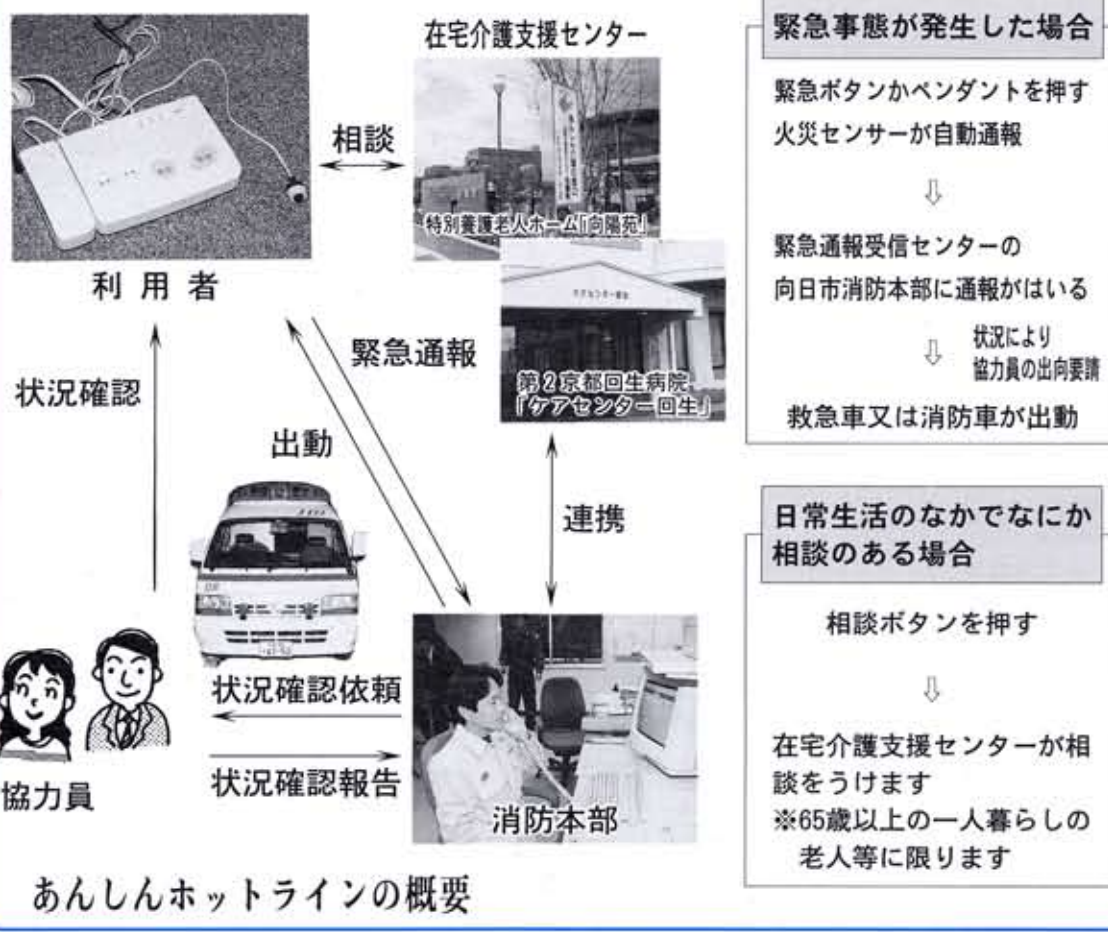
- ①向日市に住所があること。
- ②65歳以上の一人暮らしで虚弱な方。
- ③一人暮らしの方で重度の心疾患、重度の高血圧症又は重度のぜんそく等で突発的に生命に危険な発作を起こしたり意識をなくしたりするような症状が発生する持病がある方。
- ④ねたきり又は身体障害者で災害が発生した時に、自分自

費用

- ①設置費用については向日市が負担します。
- ②通話に必要な費用は利用者負担となります。
- ◎お問い合わせ 向日市消防本部救急課 ☎9341011
- 9 向日市健康福祉部 ☎9311111 高齢者福祉課 (内線327) 社会福祉課 (内線307)

設置の条件

- ①近くに住む協力員を確保して頂く必要があります。(5分程度で駆けつけられる人)等です。



向日市あんしんホットライン 運用開始

一人暮らしで65歳以上の虚弱な方、また、命にかかわる発作を起こしたり意識を無くしたりするような症状のある方など、常に病気との不安と戦いながら生活しなければならぬ人もおられます。市では、そういった不安を解消するために従来の設備を充実させた、向日市あんしんホットラインを設置しました。

緑やさしく、安心のまぢをめぐす向日市では、12月6日に岡崎市長をはじめとする関係者出席のもと向日市消防本部で「向日市あんしんホットライン」の通電式を行い、従来のシステムから転換工事を終えた現行の貸与者の方から、運用を開始しました。

このシステムは従来の機能に加え、通報の場合にはハンズフリーと言って受話器を取らなくても、緊急ボタンかペンダントを押すだけで消防本部の指令室と利用者が対話することが可能となったことや火災発生時には火災センサーと連動して消防本部に自動的に通報されるようになったこと、また、日常生活の相談に

ついては、65歳以上の一人暮らしの老人に限られますが、相談ボタンを押すだけで在宅介護支援センター(特別養護老人ホーム「向日苑」・第2京都回生病院「ケアセンター」回生)の相談員と相談できるようなったこと等多様な機能を持っています。今年度は、このシステムの受信装置3式と端末装置250台の設置を、平成10年度までに端末装置500台を整備する予定で、この装置の新たな利用申込は平成9年1月6日から開始します。